

過去に学び、 今を生き、 明日に備える

～大規模災害からのレジリエンス～

東日本大震災の時、大津波に襲われ100人以上が最上階に取り残された病院で、
3日間にかけて行われた搬送活動を、最後まで見届けた菅野医師。

救出後、被災地に戻り、世界中から支援を受け、
多くの医療支援チームとつながり、残された命を救った経験、
今に向けて積み重ねてきた時間や研究をこの日、参加者と共有します。

自身と周りの人たちの命を守り、
大きな困難を乗り越えるために必要なことを考えるきっかけにしませんか？

※レジリエンス(resilience)…「復元力、回復力、弾力」を意味する言葉

日時

2020年10月17日(土) 13:30～15:00

場所

浜松市防災学習センター 3階講座室※

※新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、オンライン開催になる可能性があります。

対象

どなたでも(医療関係者及び、これから目指す人に特におすすめです)

定員

40名 ※応募多数の場合は抽選となります

申込み
問合せ

●ホームページ上の申込みフォーム(右記QRコード)



●電話 053-474-8555 10月9日(金) 締切

(受付時間: 土・日以外の祝日を除く 9:30～17:00)

主催

浜松市防災学習センター TEL: 053-474-8555

<https://hamamatsu-bousai.entetsuassist-dms.com/>
浜松市中区山下町192(無料駐車場あり)

後援

静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、FMHarol、
ウィンディ、浜松市教育委員会

講師

東北大学病院
総合地域医療教育支援部 助教

菅野 武氏



1979年7月7日生、宮城県仙台市出身。2005年3月自治医科大学医学部卒業。2009年4月公立志津川病院内科医長。2011年、志津川病院で勤務中、東日本大震災で被災。大津波に襲われて100人以上が最上階に取り残された中、3日間、患者の搬送を最後まで見届け、自身は最後に搬送された。その対応が評価され米TIME誌2011年「世界で最も影響力のある100人」選出。2019年10月より現職。著書に「寄り添い支える～公立志津川病院 若き内科医の3・11」がある(河北新報出版センター2011年)。

参加無料